

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270301542		
法人名	医療法人 高人会		
事業所名	グループホーム かえて		
所在地 (電話番号)	〒031-0833 青森県八戸市大久保西ノ平25-294 (電話) 0178-32-3612		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 3月 15日	評価確定日	平成 20年 5月 20日

## 【情報提供票より】(平成 20年 2月 27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 7月 11日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 0.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	12,000 ~ 冬期21,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要( 2月 27日現在)

利用者人数	8 名	男性	4 名	女性	4 名	
要介護1		名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名		要介護4	2 名		
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	81 歳	最低	72 歳	最高	88 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 関口内科クリニック、関口歯科
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>閑静な住宅地に囲まれ、近隣には認知症専門病院がある。同敷地内にも医院が併設されているので健康面での把握が十分されている。重度化になった場合の対応を管理者、全職員が検討するなど、安心して生活ができるようなホーム作りがされている。近くに開設されたグループホームとともに、事業所のサービスの質の向上に向け、取り組む姿勢が伺われる。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題なし。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は管理者が行っている。改善があれば検討を行い、積極的に取り組む体制ができています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、自治会役員や家族の方などが積極的に参加されている。サービスの向上と生活の質に関する助言も活発な意見が展開され、ホーム内でのコンサート等の実施など、日常生活の活性化に向けた取り組みがされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>利用者、家族が気軽に要望や意見を話しやすい雰囲気作りをし、ご意見箱も設置され、改善すべき内容に対して十分な検討を行い、運営に反映されるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内からの案内を頂いたり、事業所からも地域の一員として回覧を回したり関係を深めている。また、婦人会の協力を得て編み物を教えて頂いたり、話し相手になっていただいたりなど、事業所を理解してもらっている。また、地域での非常時の協力体制も作られている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設以来、管理者、職員が十分な話し合いを持ち検討した結果、現在の理念に至っており、理念の浸透が図られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送り時に、勤務者全員で毎日、唱和をし、日々の業務の見直しや振りかえりになるような取り組みが見られる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	キャラバンメイト講習への参加されている。町内からの案内を頂いたり、事業所からも地域の一員として回覧を回したり関係を深めている。また、婦人会の協力を得て編み物を教えて頂いたり、話し相手になっていただいたりなど、事業所を理解してもらっている。また、地域での非常時の協力体制も作られている。		今後は、きっかけを見つけ地域に向け認知症普及活動への取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価にむけて、改善点があれば検討を行い、積極的に取り組む体制ができているが、評価の意識高揚のためにも、全職員の参加で評価する機会となるように検討してほしい。</p>		<p>運営者、管理者、全職員が一緒に取り組むことにより、業務の見直しや事業所の質が、さらに高まるように期待します。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的開催され、役員の方々からも多種多様な提案があり、課題解決に向けた積極的な助言も得られるなど活発な話し合いがされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村の担当者とは、運営推進会議等へも参加しており、課題解決困難なときは助言を頂くなど、十分連携が図られている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域福祉権利擁護事業の研修に3名ほどが受講している。必要時の支援も行われており、1名が利用されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止への研修会に参加し、会議において報告し共有している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時は十分な理解が得られるよう説明し、質問しやすい雰囲気作りに配慮している。ご家族も気軽に疑問点を投げかけてくれている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「かえでだより」を作成したり、面会時に近況報告をしたりしている。個人情報の同意のもとで、全体のりハビリ状況などを紹介し、家族的雰囲気でお互いを理解できるような取り組みがされている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入所時に説明の時間を十分設けたり、苦情箱も設置されている。利用者、家族が面会時に気がついたことがあれば、気軽に職員に直接、話してくれるなど信頼関係ができています。運営委員会や年2回のアンケートでの結果などの意見に対しては前向きに捉え改善に向けた見直しが行われている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>事業所内での異動や退職者はあるが、利用者、ご家族にもその都度説明し、ホーム内の掲示、「かえでだより」の広報などを利用し、不安や動揺を与えない配慮が十分行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得に関して、職員の研鑽意欲を育てる助言や、段階的にフォローアップする研修体制がとられている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣にグループホームがあり、コンサート実施の際に協力してもらったり、見学させてもらったりして情報交流が十分図られている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	医療施設が同敷地内に併設されているため、入居前から、利用者、ご家族共に自由に往来の機会がある。ホームとのかかわりが自然とできるような工夫がされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	地域の花見会、レク活動に共に参加し、一緒に楽しんでいる。日々の生活の中で、入居者が得意とする事が活かせるように、声掛けや場面作りをしている。個人の思いを十分に把握しその時を大切に過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの意向を十分把握し、サービス計画書作成者、職員ともに実践への検討が十分行われている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	サービス計画作成時に、利用者、ご家族との話し合いが図られ、意見を反映した介護計画が作成されている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に変化が生じた場合は、ケア会議等で見直しを行い、個々の意向が実践できるよう作成されている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療、介護相談を実施し、相談内容により、小規模多機能型への紹介を行ったケースもあるなど柔軟な対応が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣に認知症の専門病院があり、協力病院、かかりつけ医との関係において、連絡が密に行われているため、安心して受診や相談を受けられるように支援されている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族会の総会において、末期の看取りについての理事長の講和が企画されるなど、重度化に向けた取り組みについて、ご家族、管理者、職員の認識が十分共有されている。		
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b> (1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	玄関、ホールなどの掲示物や回覧する書類においても、利用者、ご家族からの同意を確実に得るなど、個人情報の取り扱いが慎重に行われている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、人工透析の人が大半を占めており個々の体調や気持ちを尊重し、医療との相談を行なった上で希望が叶えられるように工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>人工透析を必要としている方が大半であり、療養食が提供されている。可能な時には一緒に買い物に出掛けたり、簡単な盛り付けや、食後の茶碗拭きを行ってもらっている。</p> <p>献立の希望を取っており、医療との連携を図りながら、量や回数で調整し、可能な限り楽しみや満足感が得られるように取り組んでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>浴室環境は重度化にも対応できるように作られている。入浴回数は週2回ほどだが、透析の方も多いため、入浴日や時間の変更に応じている。入浴時間を利用しR0法を取り入れるなど、ゆったりした雰囲気の中で入浴を楽しんでいただくための支援が行われている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>カーテンの開閉、カレンダーめくり、茶碗拭きなど、利用者一人ひとりの役割が自然と行われ、個々の特技が十分発揮されるような支援がされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個々の希望をかなえることを目標に近所の飲食店に出かけたり、園庭の手入れなどに付き添ったりするなど支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の研修に参加し、職員間での拘束に対する認識も高く、十分な理解を持って対応している。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の研修で管理者、職員共に十分な理解がされている。警備会社との契約により、夜間の異常発生時時的確な警備が保障されているので、鍵をかけない取り組みが行われている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練の実施や、敷地内の医療関係者、運営推進役員、自治会関係者などの協力体制が図られている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>人工透析者の食事形態や個々の病状により、食事、水分などの摂取量が決められているが、その配分についても個々の体調に合わせるなど十分な把握がされ支援されている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>研修に参加したり、敷地内の医療従事者からの助言を得るなど、感染症に関するマニュアルも設置され、予防対策の検討も行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレや浴室、洗面所は使いやすい物となっている。ホールからは中庭が見え季節を感じる事が出来る。また、カーテンで光が調節され過ごしやすく、換気にも十分配慮され居心地がよく、ゆったりと過ごせている。希望を踏まえ随所にくつろぎの空間が設置され自由に過ごせるようにしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者、ご家族で選んだ好みの布地で作成された暖簾や、自宅からの小物、楽器、思い出の品物が持ち込まれているので、家庭的雰囲気損なうことなく、室内の配置にも工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。